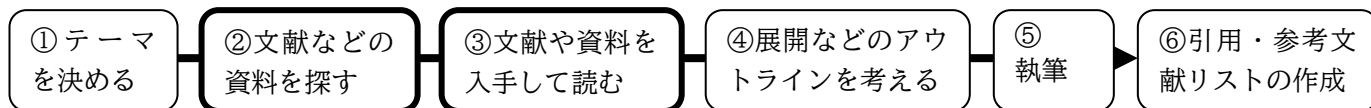




資料の集め方

<論文作成の流れ>



ここでは、レポートや卒業論文を作成する手順の中の②、③について説明します。

<資料を探す>

テーマが決まったら、先行事例の確認や関連する資料を探していきます。資料は図書だけでなく、レファレンス資料、雑誌論文・記事、新聞記事、レポート・技術資料報告書、会議資料、視聴覚資料、Web 情報などさまざまな種類があります。テーマによって必要な資料が異なりますので、適した資料を探します。



学術情報センターWeb サイト <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp> > 利用案内 > 図書館情報活用ガイド

資料の特徴

資料の種類	特徴	探し方
図書	一般的で体系的にまとまった情報を得られます。学問分野ごとに基本図書があります。ただしテーマによっては情報が古くなっている場合があります。	蔵書検索 (OPAC) や目録 (日本書籍総目録や分野別目録) で探します。 ▶ 利用の手引き参照 「図書館資料を探す」 ディスカバリサービスの使い方 CiNii Books の使い方 公共図書館の所蔵を検索する 国立国会図書館の所蔵を検索する
レファレンス資料 (参考図書)	必要な情報を得るために必要な部分だけを利用する資料で、辞書や事典、目録、書誌、索引などです。本学では年鑑や年報、白書、統計資料も含めます。	
雑誌論文・記事	雑誌 (学術雑誌・紀要・業界雑誌・一般雑誌など) に掲載されている論文や記事で、図書よりも新しい情報を得ることができます。また、特集号などのように部分的・断片的な情報を掲載するのも雑誌の特徴です。また「復刻版」として古い雑誌が図書の形態で復刻されるものもあります。	データベースや雑誌記事索引で探します。また論文などの“参考文献”から探すこともできます。 ▶ 利用の手引き参照 「図書館資料を探す」 ディスカバリサービスの使い方 CiNii Research の使い方 J-STAGE の使い方 ほか
新聞記事	毎日の新しい事実やニュース、世論を知ることができます。「縮刷版」は新聞ごとに1か月分を冊子にまとめたものです。	朝日新聞と中日新聞はデータベースで検索することができます。また縮刷版は索引から検索できます。 朝日新聞クロスサーチの使い方 中日新聞・東京新聞データベースの使い方 日本教育新聞 NIKKYO WEB の使い方
レポート・技術調査報告書	政府機関や研究機関などが行う調査研究報告書や技術資料で、科学技術分野に多く存在します。	雑誌論文・記事と同じ方法で探します。

会議資料	学会やシンポジウムでは研究者が新しい発見や研究成果を発表します。その資料や会議録などは参考になる資料ですが、非売品のため部外者が入手することは困難です。	雑誌論文・記事と同じ方法で探します。
視聴覚資料	ビデオテープ・DVD・CD・カセットテープ・写真などです。テーマによっては必要な資料となります。	図書と同じ方法で探します。
マイクロ資料	古くなった図書や雑誌、新聞などを写真撮影して保管、利用できるようにしたものです。	図書と同じ方法で探します。

<資料を入手する>

必要な資料を探ることができたら、次は入手です。資料の種類によって入手方法も異なります。

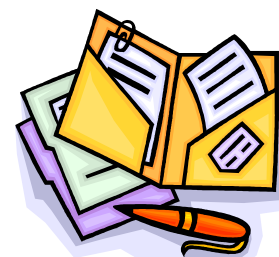
資料の種類	入手方法
図書	大学や公共図書館に所蔵があれば、借りて利用することができます。それ以外では、相互貸借、他大学を利用するなどがあります。 <p>▶ 相互貸借の依頼方法</p> <p>※他大学図書館を利用する場合は、<u>必ず図書館カウンターで手続きをしてください。</u></p>
レファレンス資料（参考図書）	レファレンス資料はほとんどの図書館で貸出しができません。そのため所蔵している図書館を訪問して調べるか、または図書館から調査を依頼することになります。
雑誌論文・記事 レポート・技術 調査報告書 会議資料 マイクロ資料 新聞記事	大学や公共図書館に所蔵していれば、必要箇所を閲覧することができます。それ以外では、文献複写依頼、他大学を利用するなどがあります。 <p>▶ 文献複写の依頼方法</p> <p>※他大学図書館を利用する場合は、<u>必ず図書館カウンターで手続きをしてください。</u></p>
視聴覚資料	視聴覚資料は相互貸借ができません。そのため所蔵している図書館を訪問して調べるか、または図書館から調査を依頼することになります。

<資料の整理>

レポートや論文には「引用・参考文献リスト」が必要です。集めた資料の以下の情報を、必ずメモしておきましょう。

- ① 著者・編者名
- ② 書名（論文タイトル、雑誌名、記事タイトルなど）
- ③ 出版事項（版次、出版地、出版者、巻号、出版年、ページ）
- ④ その他（入手方法、図書館での入手の場合は請求記号など）

▶ [参考文献の見方・書き方](#)参照



<参考文献>

大野友和編、大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法、(2005)、日本図書館協会
井出翁、藤田節子、レポート作成法：インターネット時代の情報の探し方、(2003)、日外アソシエーツ